

授業科目名	更生保護制度論	科目コード	K1604P13
英文名	Relief and Rehabilitation System		

科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援
------	----------------

職名	非常勤講師	担当教員名	大利 文雄
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	3限目
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	1単位

授業の概要	<p>・更生保護制度は、犯罪や非行をした人の社会復帰と再犯防止を図ることで社会を保護し、個人及び公共の福祉を増進することを目的とした刑事政策の一分野であるが、近年、刑事司法と福祉等の連携による施策が次々と導入されており、社会福祉士に求められる役割や業務が多様化している。そこで本授業では、テキストに沿った講義の中で実例を解説するとともに刑務所等の矯正施設を見学し、更生保護の内容と福祉が果たす役割等の習得を図る。</p> <p>・実務経験のある教員による授業</p>			
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--

キーワード	司法福祉	社会内処遇	官民協働	地域連携
-------	------	-------	------	------

到達目標	更生保護の概要や担い手など、同制度の基本的事項や用語を習得する。
	保護観察及び医療観察の内容と実施方法を理解する。
	関係機関・団体との連携の在り方を理解する。
	更生保護の動向と課題を理解する。

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー
------	-------	-----	-------	-------	---------------

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
------------	-----	-------	-------	-------

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
-------	-------	----------	--------	------------	--------------

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	更生保護制度の概要，刑事司法における位置付けと役割	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第2回	保護観察制度の概要と実際	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第3回	仮釈放制度の概要と実際	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第4回	更生保護の担い手，関係機関・団体との連携	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第5回	医療観察制度の概要と実際	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第6回	矯正施設等の現場研修	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第7回	更生保護における犯罪被害者施策	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第8回	更生保護を取り巻く現状と課題	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第9回		
	【予習】	
	【復習】	

第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末のレポートを基本とするが、授業への参加態度や意欲も対象とする。 ディプロマ・ポリシー配分比率： 人間性40% 社会性30% 専門性30%		
使用資料 <テキスト>	新・社会福祉士養成講座 20 更生保護制度 第4版	使用資料 <参考図書>	指定しない。適宜、資料を配布する。
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から犯罪や非行の報道に関心を持ち、福祉・教育的な観点からその要因等を考えること。 ・予習を行った上で受講し、復習により理解を深めること。 		
授業外質問方法	講義の際に提示する。 オフィスアワーやメール (murakami@tuins.ac.jp)にて受け付ける。		
オフィス・アワー	月曜2限(10:50～12:20)		